

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

大建工業株式会社は、深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の最重要課題との認識に立ち、建設業としての事業活動を通してSDGsが掲げる問題に取り組み、環境負荷の低減、持続的な循環社会の構築に貢献します。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	建設機械及び工事車両等から出る二酸化炭素排出量の削減	項目	完工高100万円当りのCo2排出量削減率
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		423.5kg-Co2/100万円	2027年 410.8-Co2/100万円→3%
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	社会貢献活動(ボランティア活動)	項目	ボランティアの年間活動回数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		3回	4回以上
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	年齢を問わない採用の実施と年齢に応じた柔軟な働き方の導入	項目	採用の人数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		高齢者採用0名	高齢者採用3名

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取り組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

<パートナーシップ>

熊本県産業資源循環協会、熊本県解体工事事業協会を通して熊本県、熊本市と防災協定を結び、自然災害時の緊急対応や不法投棄ボランティア清掃活動に参加し環境経営活動に取り組んでいる。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

☑ 環境 □ 社会 □ 経済	建設機械及び工事車両等から出る二酸化炭素排出量の削減	前期の指標 完工高100万円当りの二酸化炭素排出量削減 2024年度-3%(2021年比)
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	二酸化炭素排出量は重機のアイドルリングストップや低燃費車両の使用により目標達成できた。	2022年 482.6kg-Co2/100万円→-4.9% 2023年 427.8kg-Co2/100万円→-11.8% 2024年 423.5kg-Co2/100万円→-12.7%
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	社会貢献活動(ボランティア活動)	前期の指標 年4回以上の実施 (不法投棄清掃活動等) 2021年度実績 4回
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	江津湖の環境保全活動や、自治体と協会が取り組む不法投棄ボランティア等に参加したが、人員不足のため目標達成できなかった。	2022年 4回 達成 2023年 3回 未達成 2024年 3回 未達成
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	従業員の資格取得、講習受講を推進し、人材育成を行う	前期の指標 2024年度までに土木、建築施工管理技士を5名育成
	進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
	就業規則による資格手当の拡充により、目標達成できた。	2022年 2名 2023年 3名 2024年 0名

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取り組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取り組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取り組みの進捗状況」には、前期の重点的な取り組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。